

～人を豊かに、地球を美しく～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

第71期 2020年3月期 決算説明資料



2020年5月28日

－ お問合せ先 －

上席執行役員 木下敦視

TEL : (03) 5381-0728

FAX : (03) 3349-0867

<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/>



1. 決算概要について



2020年3月期（連結） 決算概要

単位：百万円

	19.3期	20.3期	増減	%
貴金属関連	132,771	130,726	▲ 2,045	▲ 1.5%
食品関連	75,566	80,250	+4,683	+6.2%
売上高	208,338	210,976	+2,638	+1.3%
貴金属関連	3,444	4,933	+1,488	+43.2%
食品関連	1,503	1,307	▲ 195	▲ 13.0%
営業利益	4,948	6,241	+1,293	+26.1%
営業利益率	2.4%	3.0%	—	
経常利益	5,094	6,384	+1,290	+25.3%
経常利益率	2.4%	3.0%	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,391	4,046	+655	+19.3%
当期純利益率	1.6%	1.9%	—	
1株当たり当期純利益(円)	128.77	153.66	+24	+18.6%
1株当たり純資産(円)	2,236.35	2,294.82	+58	+2.6%

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

○ 2020年3月期（連結）決算のポイント

■ 貴金属関連事業 【前期比】売上高：1.5%減収、営業利益：43.2%増益

売上高：貴金属地金の買取り数量縮小に伴う販売数量の減少から減収。
基幹事業である貴金属リサイクルにおいて貴金属含有スクラップからの貴金属回収及び販売数量は確保できました。

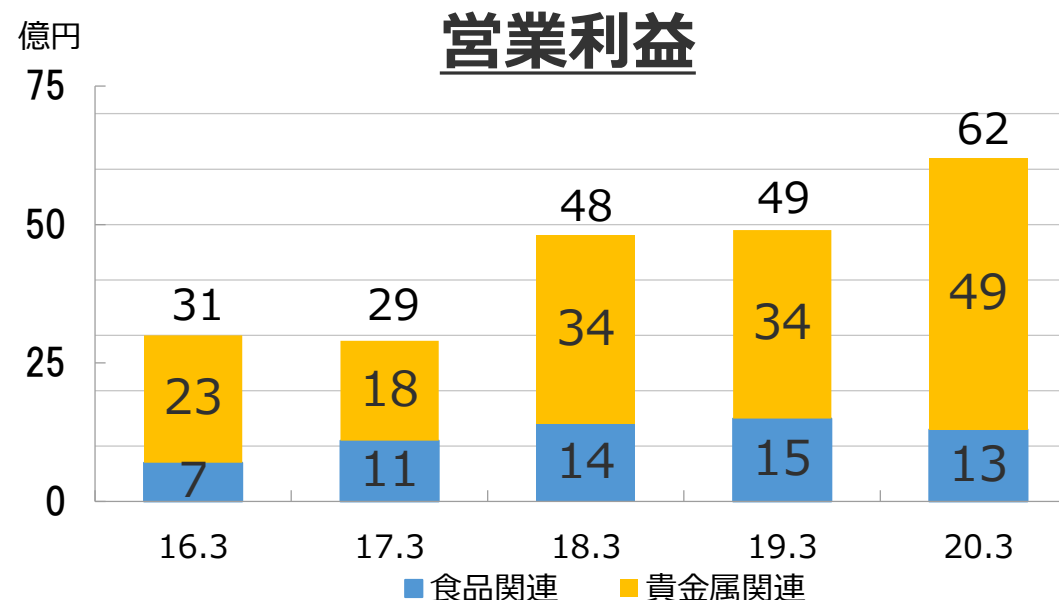
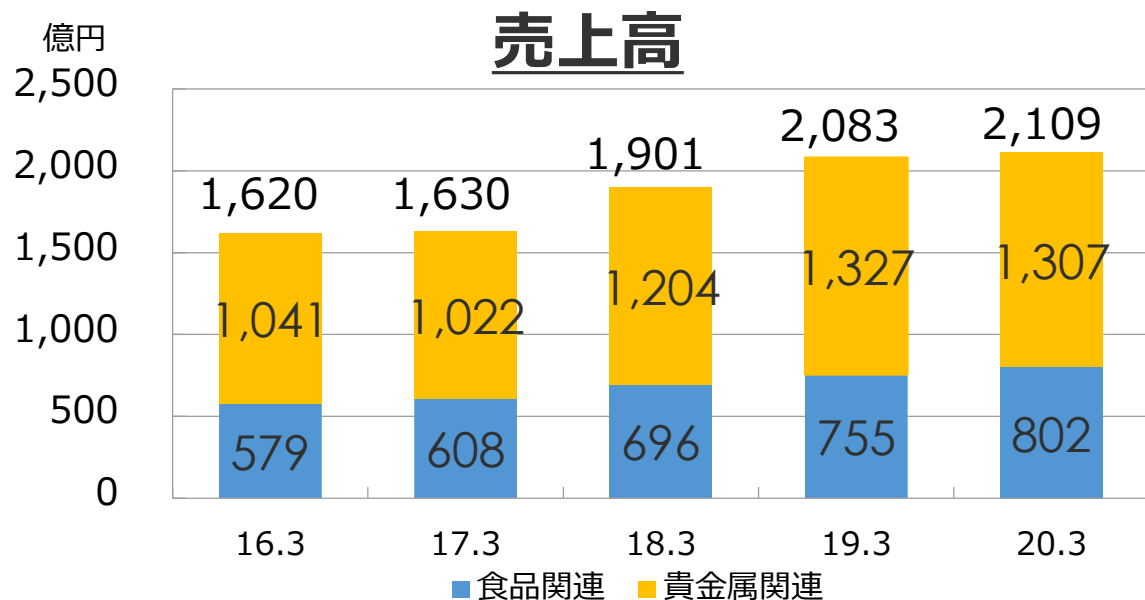
営業利益：金・パラジウム等の貴金属相場の上昇や原価低減などにより、販管費の増加があったものの増益。

■ 食品関連事業 【前期比】売上高：6.2%増収、営業利益：13%減益

売上高：顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動に取り組んだ結果、水産品、畜産品及び農産品の販売数量増加により増収。

営業利益：運送費及び保管料（販管費）の増加などにより減益。

○ 連結決算の業績推移と2021年3月期通期の見通し



2021年3月期通期見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外における経済活動の停滞や収束時期の不確実性から、需要動向やサプライチェーン全体への影響も極めて不透明であり、現時点では、当社グループの業績予想を適正かつ合理的に算出することが困難であることから、業績予想は「未定」とし、今後、適正かつ合理的な算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

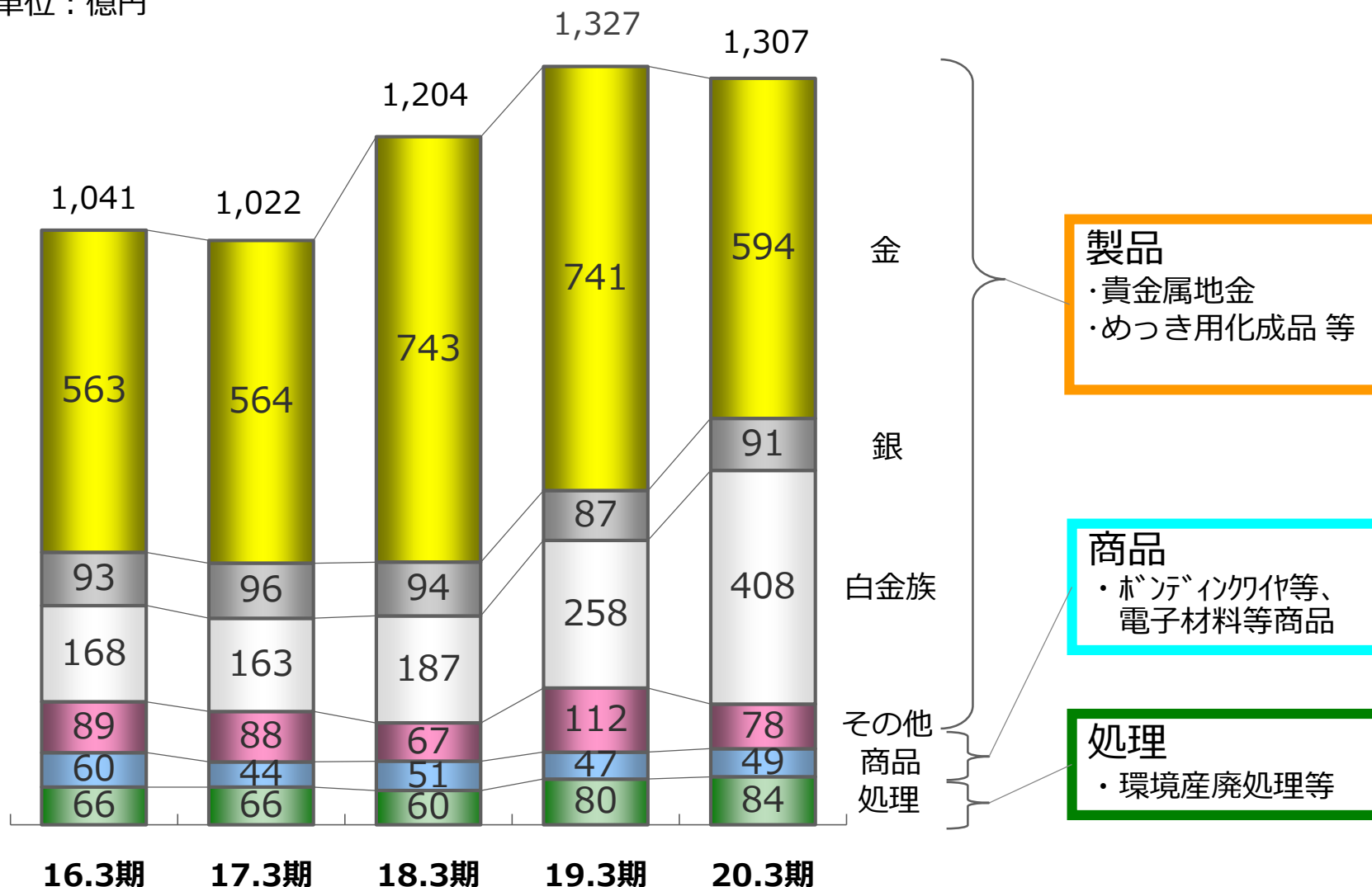
■ 当社グループの主要対策

- ・ 対策本部を設置
- ・ 勤務形態の見直し（在宅勤務、時差出勤、シフト勤務等）
- ・ 国内外の出張自粛
- ・ 商談や社内会議でのWEB会議活用
- ・ 手洗い、マスク着用、アルコール消毒、換気の徹底
- ・ ソーシャルディスタンスの徹底

当社グループは、お取引先様並びに従業員の健康と安全を最優先に捉え、感染リスクを回避するために以上の対策を講じるとともに、グローバルに各国・地域の政府及び自治体の指導に従い、事業活動を継続しております。

品目別売上高の推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



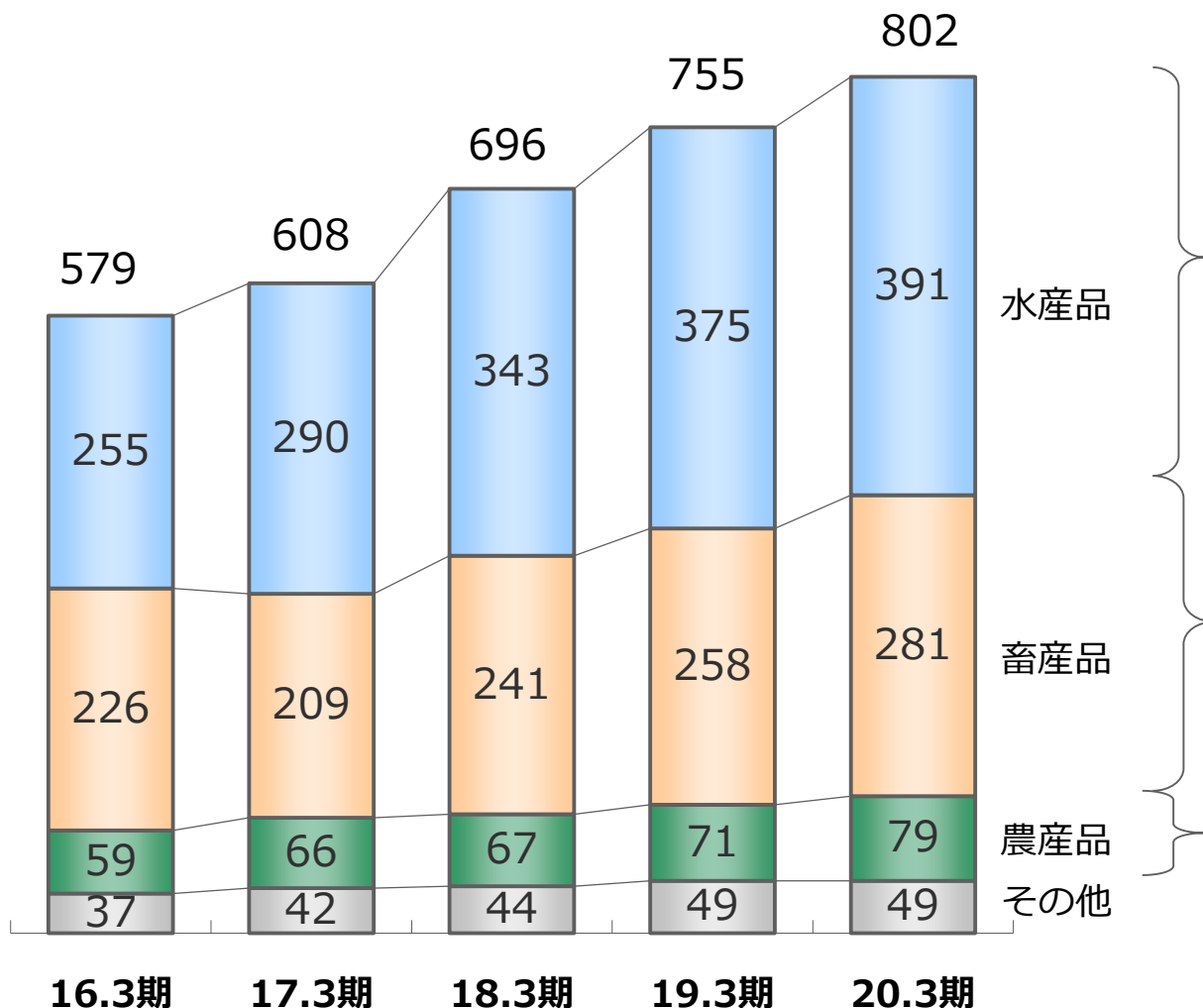
売上高： 20億円 減少

増減要因

- 金製品は、販売数量が減少し売上減少。
- 銀製品は、単価上昇により売上増加。
- 白金族製品は、販売数量増加・単価上昇により売上増加。
- 商品売上は販売数量が減少したものの単価上昇により微増。

品目別売上高の推移＜食品関連事業＞

単位：億円



水産品
すりみ
イカ、エビ等

畜産品
鶏肉、豚肉、牛肉、
鶏卵 等

農産品
冷凍野菜、乾燥野菜等

売上高： 46億円 増加

増減要因

○水産品は、すりみは単価上昇・数量増加し、その他水産品は単価上昇により全体的に売上は増加。

○畜産品は、畜肉系の販売数量が伸び売上増加。

○農産品は、販売数量・単価がともに伸び、売上増加。

○ 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

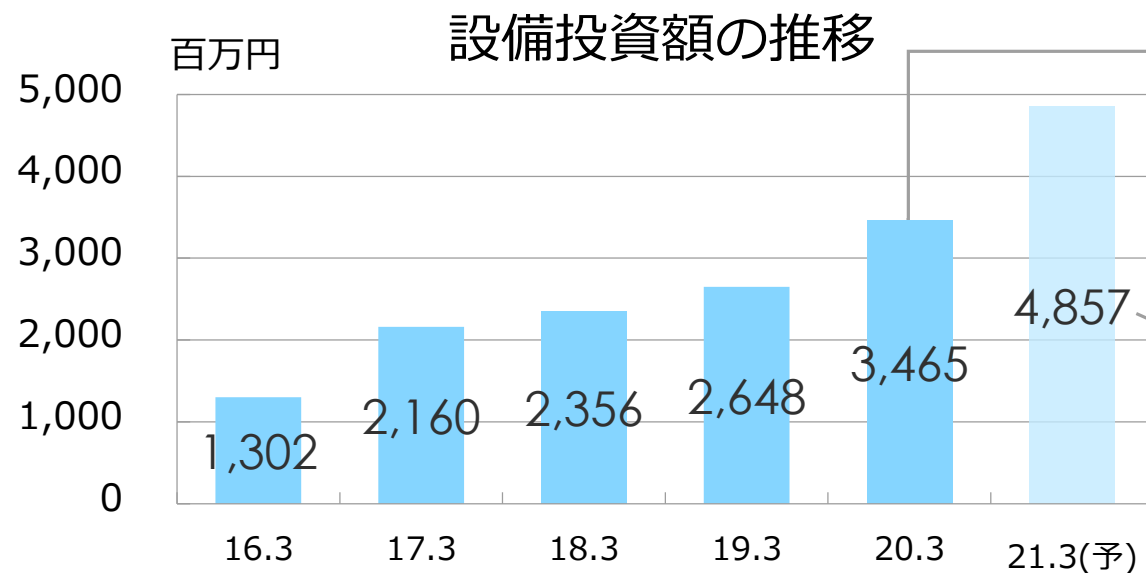
単位：百万円

(連結)	19.3期末	20.3期末	増減	主な増減要因
流動資産	56,961	68,398	+11,436	現金及び預金+3,835、 <u>棚卸資産+7,434(※)</u>
固定資産	23,953	26,110	+2,157	工場設備の新設及び更新等+1,780
資産合計	80,915	94,509	+13,593	
流動負債	17,814	24,168	+6,353	借入金+8,014
固定負債	4,132	9,813	+5,681	
うち有利子負債	7,113	15,429	+8,316	
負債合計	21,946	33,982	+12,035	
純資産合計	58,968	60,527	+1,558	
負債純資産合計	80,915	94,509	+13,593	
自己資本比率	72.8%	63.9%	—	

	19.3期	20.3期	増減
営業キャッシュ・フロー	6,178	▲ 422	▲ 6,600
投資キャッシュ・フロー	▲ 2,166	▲ 2,674	▲ 508
フリーキャッシュ・フロー	4,011	▲ 3,096	▲ 7,108

※棚卸資産の増加は、新型コロナウイルス感染症拡大に備えた、一過的な貴金属製品等の在庫の積み増しによる。

設備投資の状況



主な設備投資実績

20.3期

関工場生産設備 1,173百万円

製錬環境処理設備・拠点拡充等 2,292百万円

主な設備投資予定

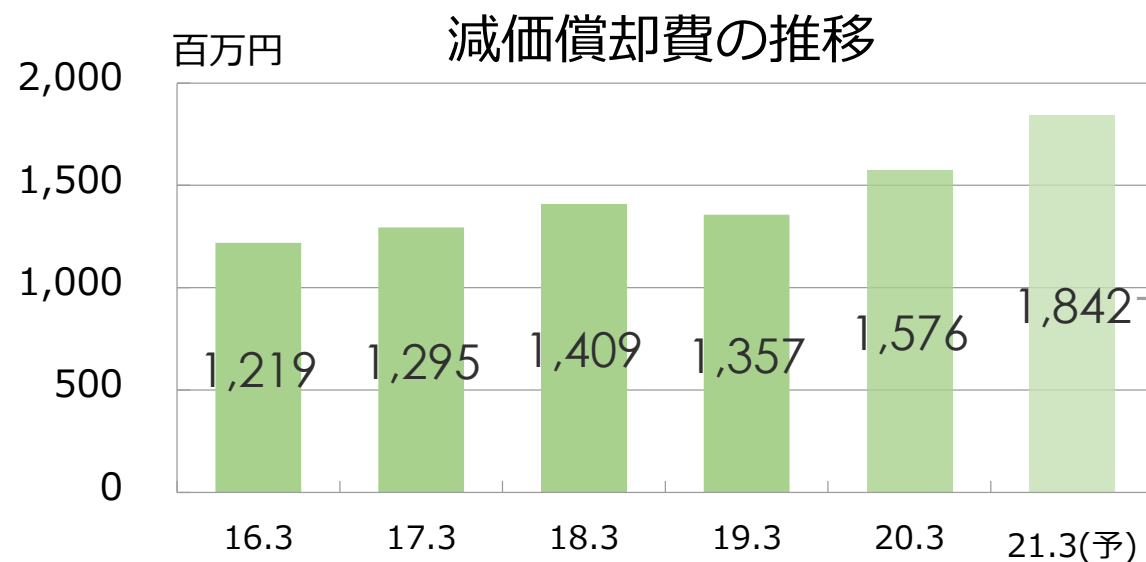
21.3期

関工場生産設備※ 1,424百万円

製錬環境処理設備・拠点拡充等 3,433百万円

※19.3期（10億円）20.3期（12億円）21.3期（14億円予定）

本投資の総投資額（予定）は約36億円となります。



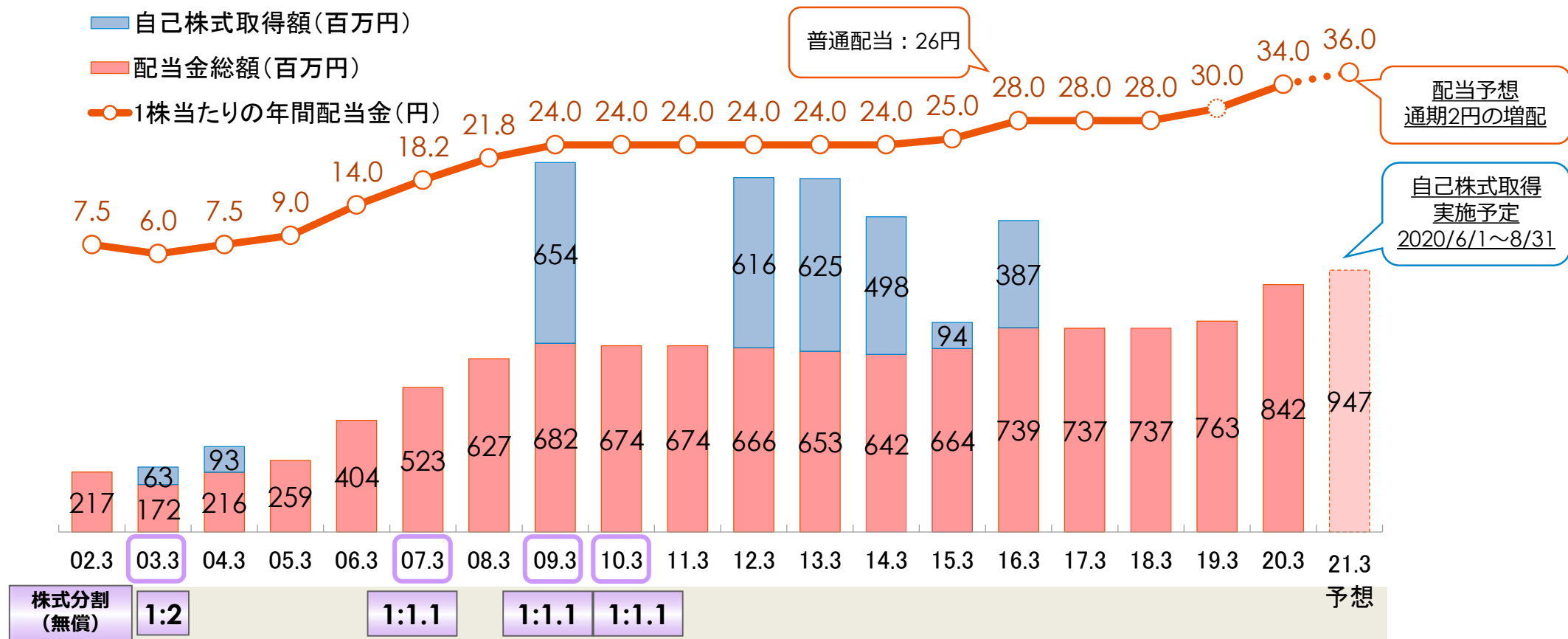
主な減価償却費予定

21.3期

関工場生産設備等に伴う増加 約500百万円

株主還元

成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主様への安定かつ持続的な配当を実施する事により、株主様の期待に応えてまいります。
 なお、2021年3月期の通期業績見通しは未定としておりますが、配当については年間で1株当たり2円増配の36円を予定しております。



(注1) 1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

(注2) 16.3月期の自己株式取得額は、2015年10月31日までの取得額を表示しています。

2. 経営戦略と事業展開について

(2019年5月13日公表「中期経営計画（2019-2021年度）」より)



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

○ 当社グループが目指す姿

資源の有効活用と安定供給により
事業(貴金属関連・食品関連)を通じて
社会に貢献してまいります

社会変化に適応し、進化し続ける「強い」会社へ！

⇒ステークホルダー（お客様、株主、取引先、従業員、地域社会等）の満足度向上

顧客ニーズに対応した高い付加価値を提供し続ける

貴金属関連事業

東アジアで資源循環を
創造するリーディングカンパニー

成長戦略推進

経営基盤強化

食品関連事業

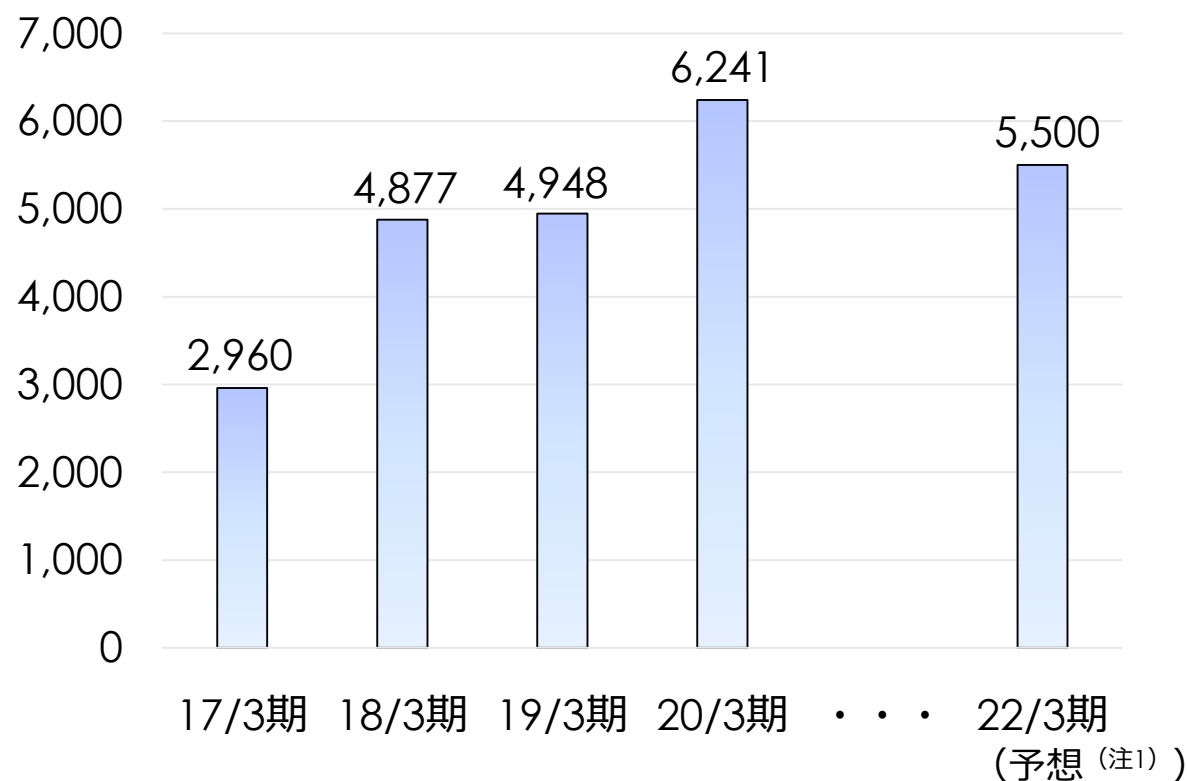
お客様の商品開発のベストパートナー

成長戦略

- ◆ 貴金属関連事業と食品関連事業の両事業を成長牽引役として事業拡大
- ◆ 製品・技術開発、国内外の拠点整備や機能拡充等、前中期経営計画より事業拡大に必要な成長投資を積極的に実施

営業利益推移（連結）

単位：百万円

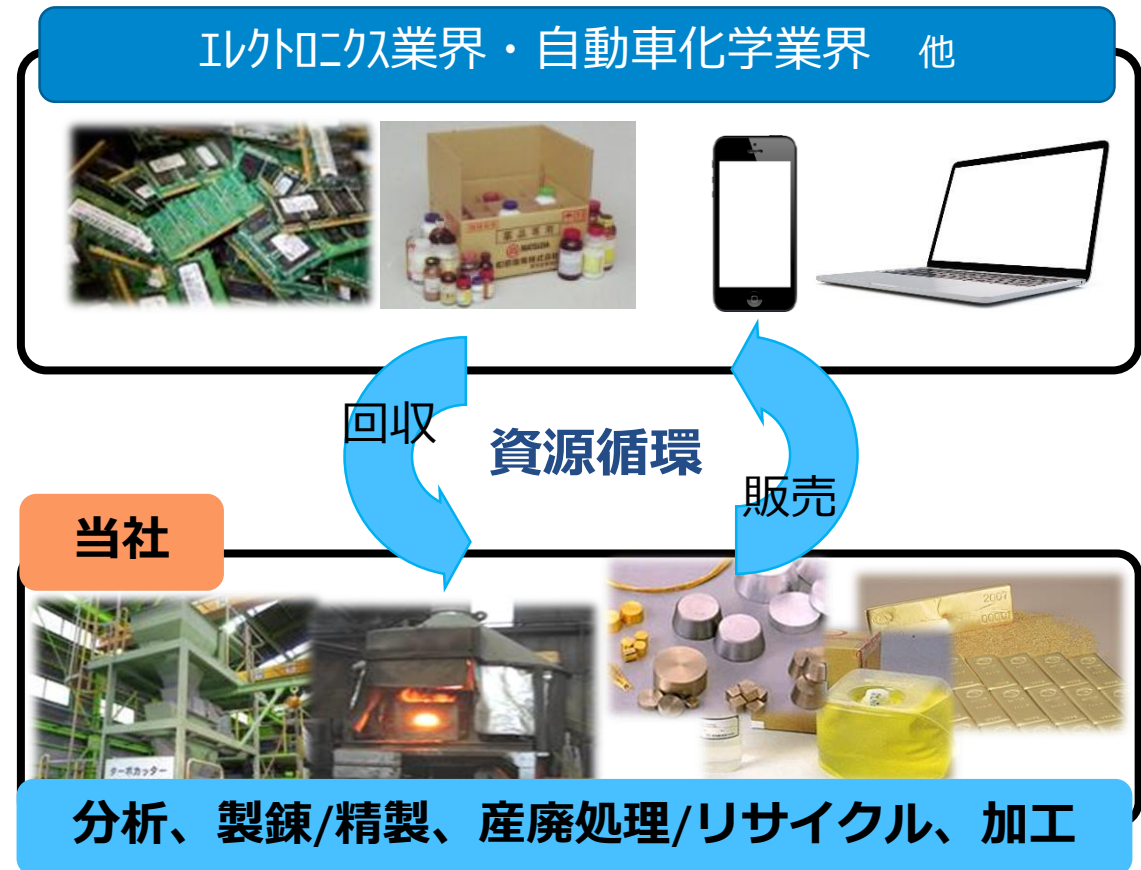


（注1） 2019年5月13日に発表した中期経営計画（2019-2021年度）における22/3期予想

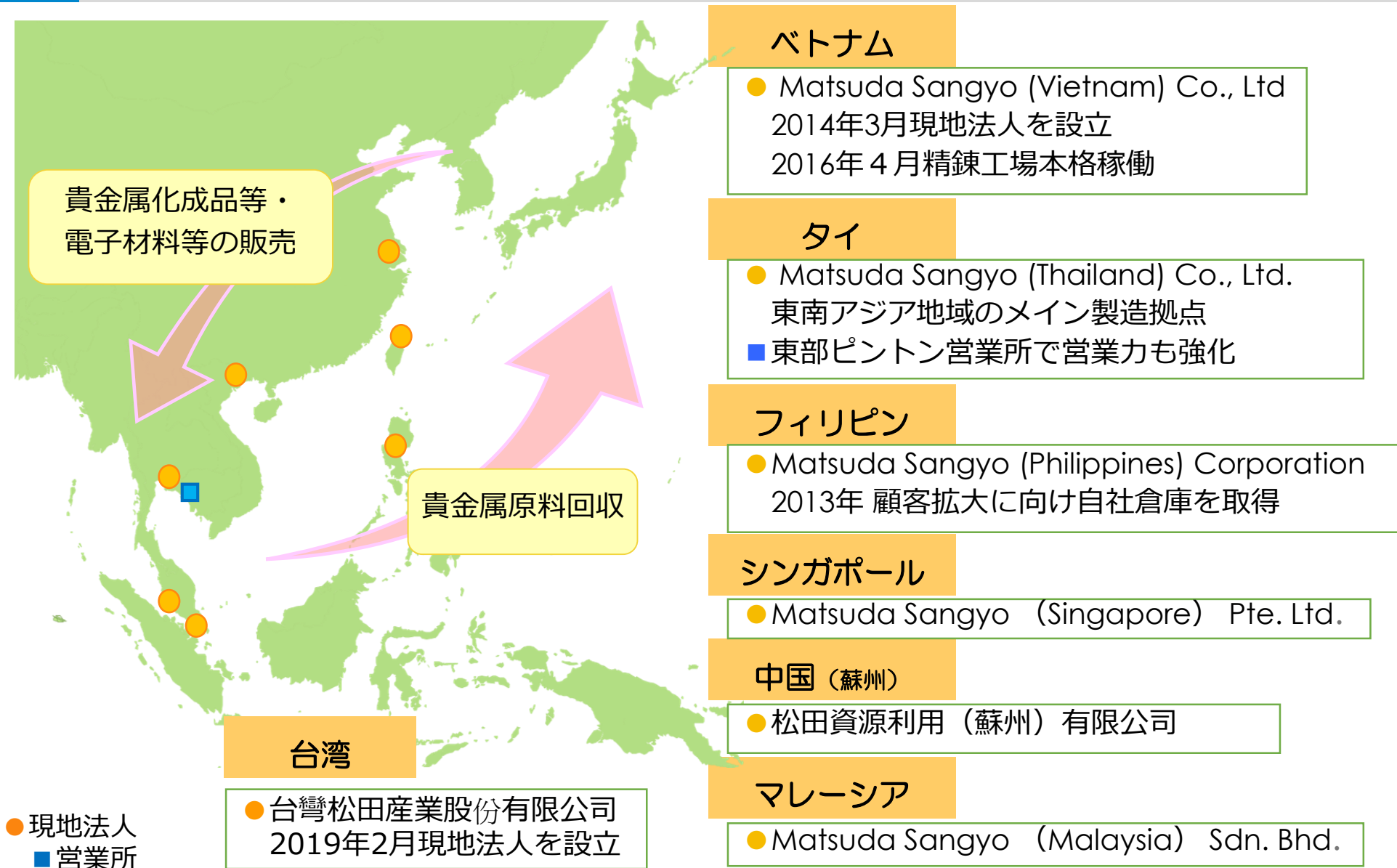
貴金属関連事業

東アジアで資源循環を
創造するリーディングカンパニー

- ・ 基幹事業の基盤強化。
- ・ 資源循環ビジネスを始めとする顧客価値提案強化と営業体制整備
- ・ 自動車関連市場／化学関連市場／海外市場の拡大
- ・ E-スクラップ[®]、高機能電子材料、Liリサイクル等の事業領域拡大



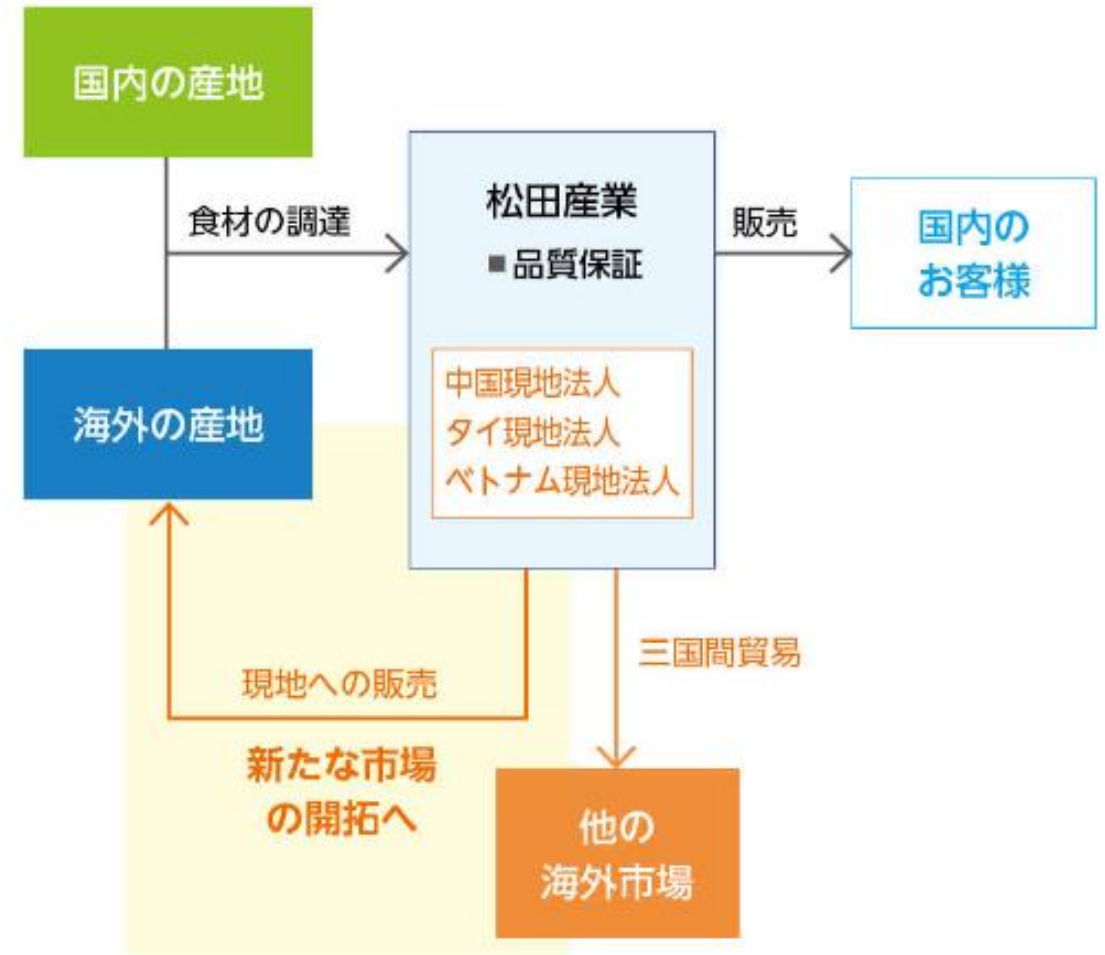
事業展開（貴金属関連事業）



食品関連事業

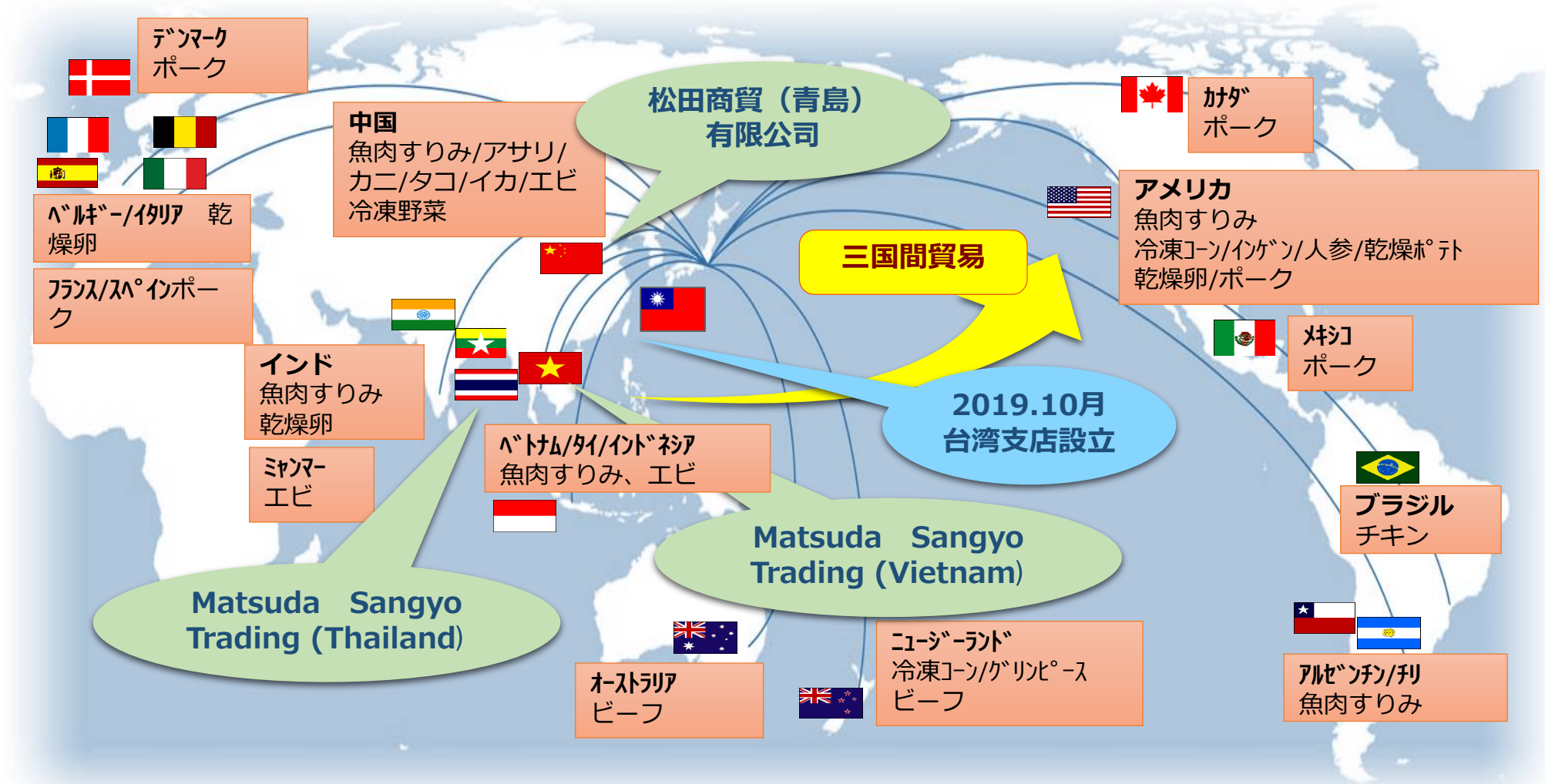
お客様の商品開発のベストパートナー

- ・ 基幹事業の基盤強化
- ・ 強い商品作りの為の開発／品質保証／生産管理支援機能強化
- ・ 顧客ニーズに応じた商品ラインナップ拡充
- ・ 国内に加え、グローバル展開を加速（国内外拠点展開）



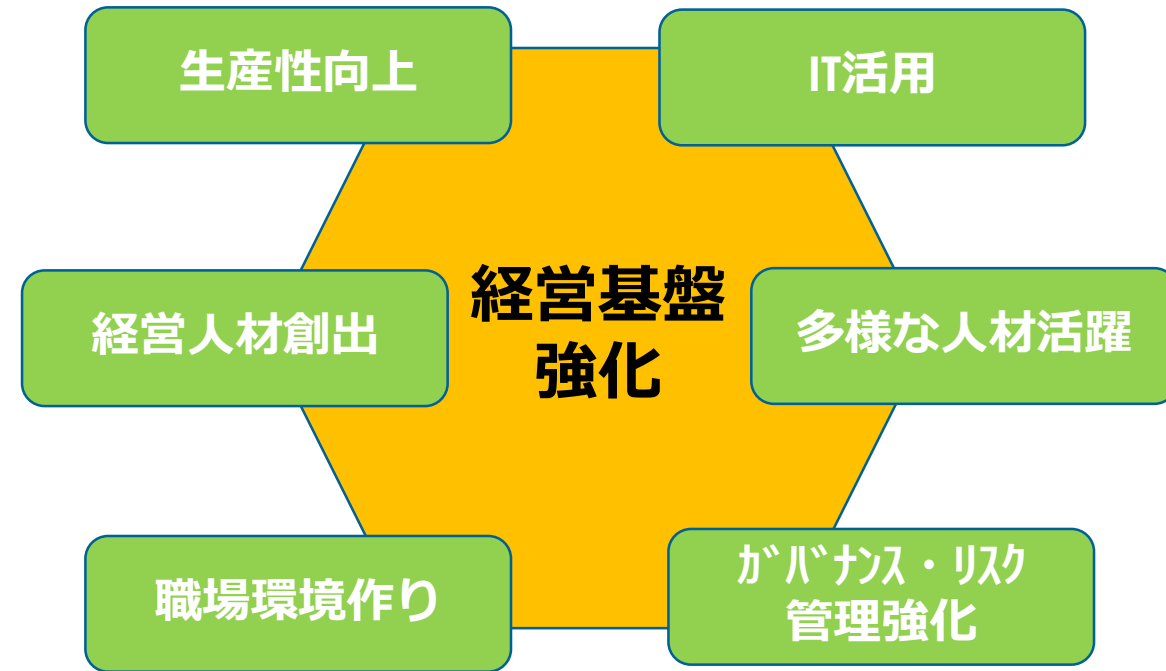
事業展開（食品関連事業）

グローバルなネットワークにより
変化する業界のニーズに対応した食材を調達・販売展開



経営基盤の強化

- ・ ITを活用した管理機能強化と自動化・省力化を推進し生産性向上
- ・ 成長を牽引する経営人材の創出
- ・ 適材適所で多様な人材が活躍できる働きがいと働きやすい職場環境作り
- ・ がバナンス強化と多岐にわたるリスク管理（安全、遵法、事業リスク等）の徹底



○ 持続的な企業価値向上を目指して

当社が考えるサステイナブルな企業価値向上

企業理念：限りある地球資源を有効活用し、
業を通じて社会に貢献する

事業拡大
(業績／顧客価値)

&

事業を通じた
社会貢献

事業機会
拡大

持続的成長サイクル

社会的課題
解決に貢献

<貢献できる社会的課題：SDGs>





弊社HP

松田産業

検索

<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/index.html>

本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

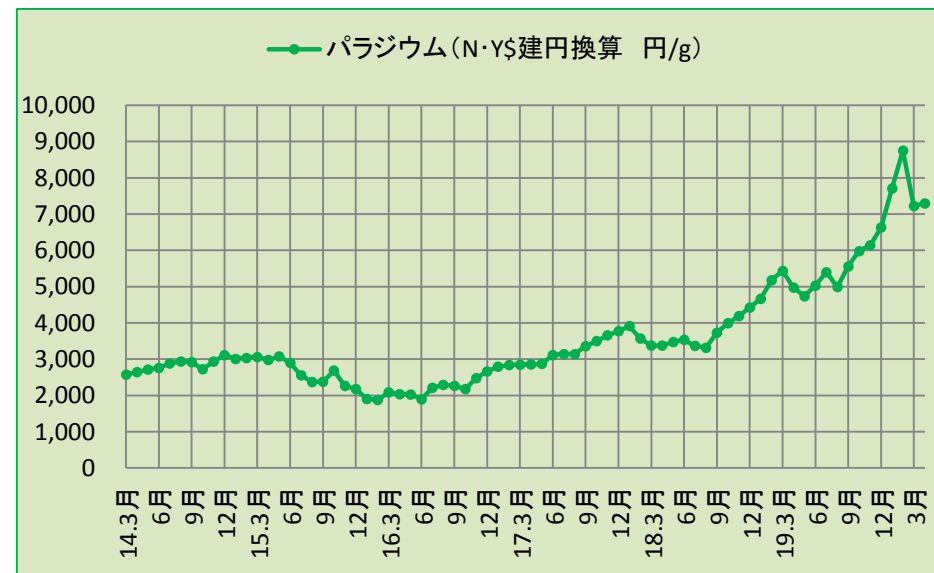
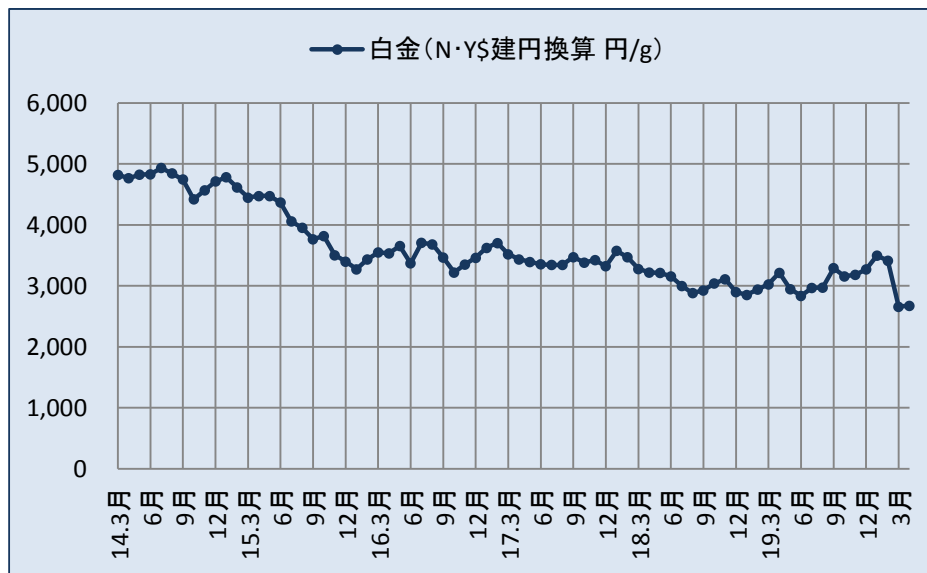
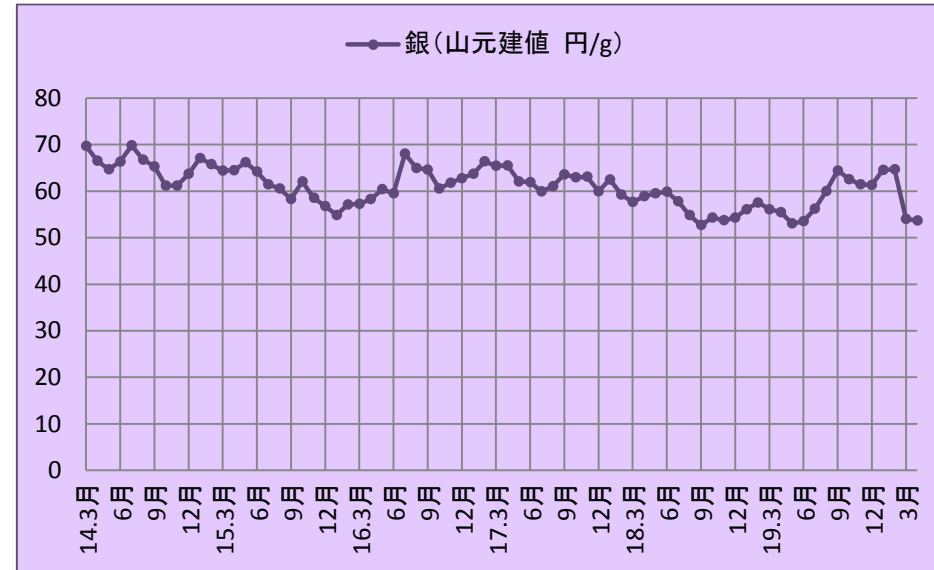
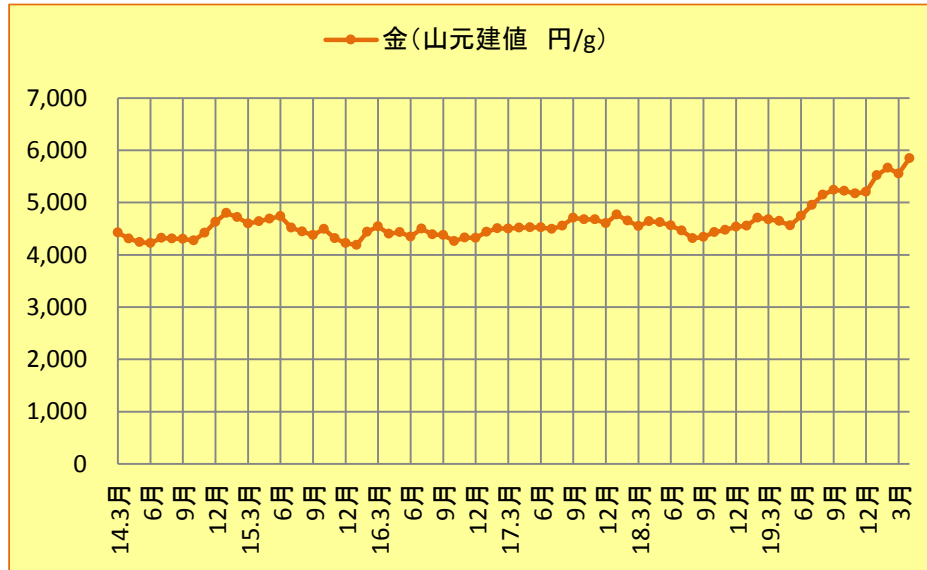
ご参考



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

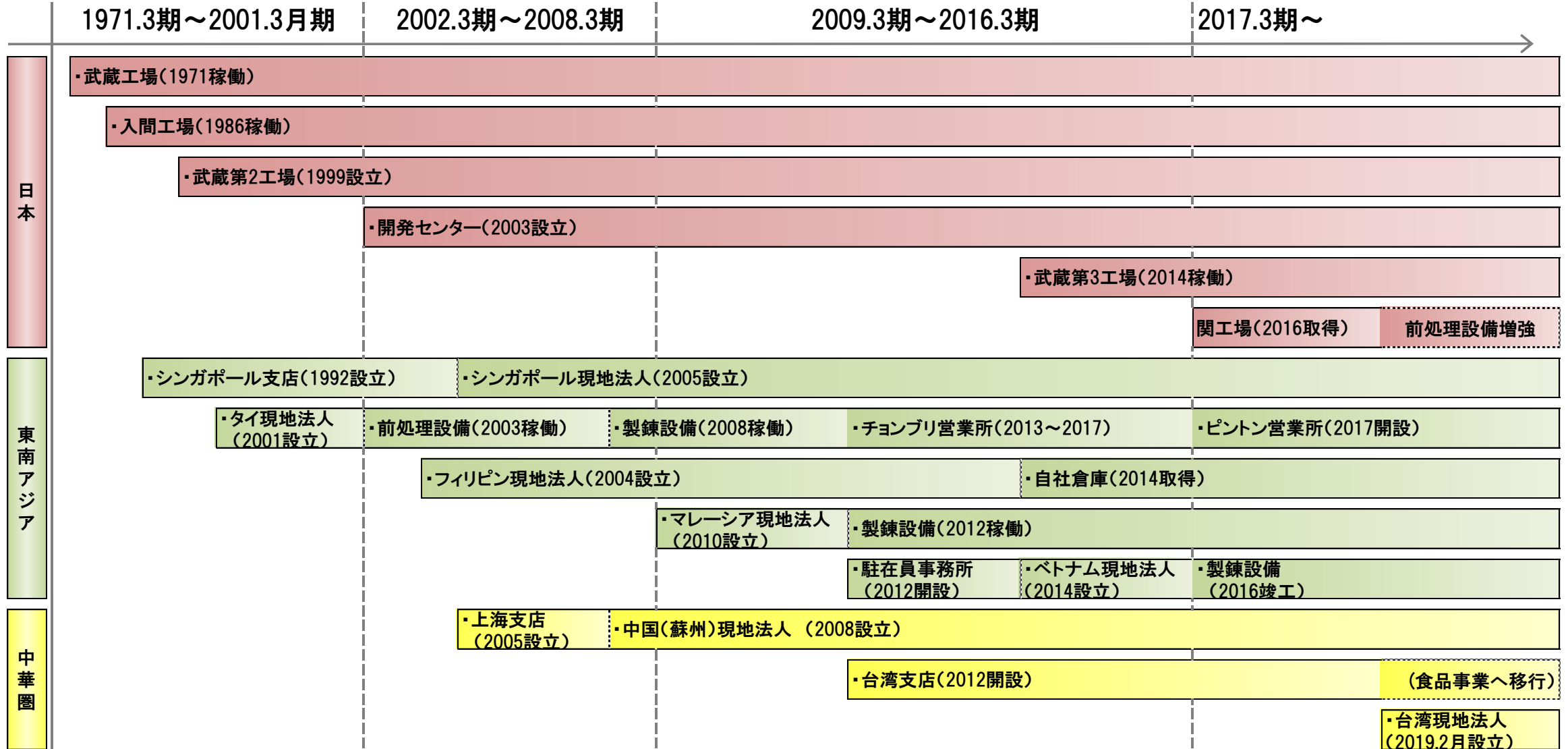


(ご参考) 貴金属相場の推移





(ご参考) 貴金属関連事業の拠点展開の軌跡



※年の表示は各イベントが属する決算期による(例: 2012⇒2012年3月期)。1992年までは12月決算、1993年以降は3月決算。